

Cコミュニティ Sソーシャル Wワーカーです。



CSWとは

市社協が市内22地区に配置するコミュニティソーシャルワーカー（CSW）は、地域に出向いて生活に困りごとを抱える人の相談を受け、関係機関や住民と連携し、地域での支えあい活動が広がるお手伝いをしています。今回は地域とつながった個別支援事例を紹介いたします。

【ケースの概要】

CSWは本人の強みを活かして、本人の意思を尊重した支援を行います。
今回は、自信を無くしてひきこもりがちになっていた男性が、地域での活動と交流を経て就労に結び付いたケースです。



【きっかけ】

Aさん（仮名）は吃音があり、就職の面接などで緊張すると言葉が出なくなることがありました。

人前で話すことが苦手なAさんは、専門学校を卒業後、自宅にひきこもりがちになり、心配した叔父からCSWへ相談が入りました。

【地域の手伝いから始まった支援】

本人との面談を重ね、まずは地区社協が運営する地域カフェの手伝いをしてもらうことになりました。そこで地域のボランティアの方と関わる中で、徐々に打ち解けはじめ、親しみを込めて名前と呼ばれるようになりました。



【本人の得意、強みを活かす】

さらに、地区社協が主催するスマホ教室の手伝いをきっかけに、スマホやパソコンが得意なことがわかり、地域のイベント企画会議に参加することに。最初は緊張していたAさんでしたが、イベント広報の担当を申し出てくれました。パソコンで自作したチラシを持参し、「会議中のメンバーの会話をヒントにデザインした」ことを説明してくれました。人の意見を注意深く聞き、理解しようとする性格もAさんの強みでした。



【住民の働きかけ】

地域カフェのメンバーは、Aさんのことを“働かない若者”ではなく、“地域の仲間”として接してくれました。カフェ参加者からAさんに、かつての仕事の話や、「若いころは同じように悩んでいた」ことなど、人生経験を伝える場面もありました。

【就労支援団体との面談】

地域での活動を通して、自分にもできることがある！と気づき始めたというAさんに、CSWから就労支援団体との面談を提案し、まずは週3回の清掃業務をスタートすることになりました。



【Aさんの手紙（抜粋）】

ボランティアをする前の自分は心が落ち着く日がありませんでしたが、手伝いを通して「自分にもできることがある」と思えるような、色んな経験を得られました。



【支援後の変化】

その後、Aさんは週5日働き、「初めての給料で家族にプレゼントを贈ることができた」と嬉しい報告もありました。
Aさんは地区社協の皆さんに手紙を書きました。そこには自分が地域の方に勇気づけられたこと、地域のおかげで自信がついたことがつづられていました。
その手紙は今も、地域拠点に飾られています。

【今回のケースのポイント】

CSWはクライアントだけではなく、歴史や産業、市民活動などくまなく担当地区をアセスメントする必要があります。CSWが日常的な場や機会を通じて人々と触れ合うことで、様々な地域資源が可視化されます。今回はその取り組みが実を結んだケースといえるでしょう。

《CSWアドバイザー 隅河内 司先生》

【CSWの普及啓発活動の実績】

CSWは年間を通して、「多機関連携のためのCSWの機能」について説明を行っています。今年度も大きい会議から、地域のサロンまで、色々な場所でCSWの周知活動をしました。

地区担当業務説明会（中央区）

4月

障害者自立支援協議会

「南区グループスーパービジョン」

各地区民生委員児童委員協議会の総会

5月

各地区社会福祉協議会の総会

グリーンコーポいきいきカフェ（高齢者サロン）

6月

障害者自立支援協議会

「中央区グループスーパービジョン」

障害者自立支援協議会

「緑区グループスーパービジョン」

7月

地区担当業務説明会（南区）

桜美林大学 地域福祉論

8月

9月



もっとたくさんの人に
CSWのお仕事を知って
ほしいです！

市立 湘南小学校 保護者会

10月

大沢地区 地域座談会

在宅医療・介護連携事例等発表会

11月

さがみはら介護支援専門員の会

南区ケアマネ交流会「コンパス座」

12月

相模女子大学 ソーシャルワーク演習

「社協の総合相談」をすすめるための
関連研修（県社協）

1月

神奈川県生活保護関係職員スキルアップ研修会

MSW・生活福祉課合同研修会

2月

松が丘園 スーパーバイズ研修

3月

市立相陽中学校 職業体験講座

北里大学病院MSW勉強会

令和6年度 相談統計より抜粋（R7.2現在）

個別相談対象者分類

1. 精神障がい 250件
2. 無職 213件
3. ひきこもり 132件
4. 障がい疑い 103件
5. 高齢（独居）132件

課題別相談内容

1. 経済的困難・生活困窮 260件
2. 精神的不安 253件
3. 金銭管理 140件
4. 近隣トラブル 101件
5. 傾聴・話し相手 92件



～相談の傾向～

- 同時に複数の課題を抱える世帯が増えている。
- 行政機関からの相談件数が増加。今後ますます多機関連携が必要になってくる。